

令和4年5月吉日

溶接構造研究委員会
委員 各位

社団法人 溶接学会
溶接構造研究委員会
委員長 中谷光良 (公印省略)

(ハイブリッド開催)

第241回 溶接構造研究委員会 開催案内

(令和4年度日本溶接会議 (JIW) 第X委員会 との合同委員会)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、標記の委員会を下記により開催いたします。

敬具

記

1. 日時 令和4年6月1日(水) 12:30 ~ 17:25

2. 場所

- ・ 対面開催会場

TKP ガーデンシティ大阪梅田

(<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gc-osaka-umeda/access/>)

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島5-4-21

TKP ゲートタワービル **[カンファレンスルーム 16A]**



- ・ オンライン: 「Microsoft Teams」によるオンライン開催

(Teams へのアクセス方法は、参加申込み頂いた後にメールでご案内します)

初めてのハイブリッド開催にて会議進行等至らぬ点もあるかと存じますが、円滑な運営に向け対応いたしますので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

- ① 会場の通信状況によりオンライン側の画像乱れの発生や音声聞こえにくい場合がございます。
- ② 講演毎に質疑応答を受け付けます。質問は先に会場参加の方から行います。その後にオンライン参加の方から受け付けます。司会者の指示に従い講演者へ質問して下さい。
- ③ 会場撤収の為に可能な限りの前倒し進行を行います。講演予定時刻に多少の変更があることをご了承ください。

3. ご参加について

会場参加の方

溶接学会 対面方式開催における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(別紙参照)に基づき、感染防止対策を講じた上で開催に努めます。

会場定員有: 事前確認にて対面参加を申し出ている方を優先しますこと、ご了承ください。

会場へお越しになる際には以下をご協力ください。

- ① 当日の受付時に「**健康状態確認同意書**」をご提出下さい。(参加申込者に後日送付)
- ② マスク着用(各自ご用意)いただけない場合はご参加をお断りいたします。
- ③ 当日の検温結果が 37.5 度以上、または風邪症状や倦怠感がある場合、会場での参加をお断りいたします。
- ④ 座席は**事前指定席制**とします。座席は申込後に別途ご案内いたします。
- ⑤ 会場ではお弁当等食事摂取はできません。飲料のみ摂取いただけます。

※会場参加→オンライン参加へ変更 (出欠回答後 感染状況, 体調不良等により)

- ✓ 変更をご希望される場合は、「**5月30日(月)午前中**」までに岡野宛に必ずご連絡下さい。
会場参加人数の把握のため、無断で会場参加からオンライン参加への切替はお控え下さい。
なお、会場から Microsoft Teams への接続は推奨しませんが、接続する場合にはオンライン参加と同様に誓約書を必要とします。

オンライン参加の方

※オンライン参加→会場参加への変更は対応いたしませんのでお申込み時ご注意ください。

ご出欠回答締切日迄に開催案内と併せて添付いたしました「2022 年度研究委員会オンライン開催に伴う誓約書」のご提出をお願い申し上げます。Teams 参加 URL の情報は別途事務局よりご案内いたします。この情報はご参加者のみご利用をお願い申し上げます。

※オンライン配信画面の撮影、録音、録画、スクリーンショットおよびその他の映像機器をご利用された記録は絶対に行われませんようお願い申し上げます。

配布資料について

当日の配布資料、ご講演資料は委員会開催前にダウンロードシステムを利用し皆様へご送付致します。

開催当日までにご自身にて印刷を行っていただきお手元にご準備のうえご参加をお願いいたします。

- ✓ 会場参加の方も感染防止のため可能な限り各自で資料をご持参ください。

4. 議 題 12 : 30 ~ 17 : 25

12:30~12:35 開会挨拶 南二三吉

12:35~12:40 JIW C-X の副委員長の選任

12:40~13:05 X-2003-2022

Loading mode effect on brittle fracture toughness under large-scale yielding

○Kazuma Shimizu, Mitsuru Ohata, Hiroto Shoji (Osaka University)

13:05~13:30 X-2004-2022

Long Brittle Crack Arrest Behavior in T Joint of Extra Thick Steel Plate

○Ryota Nagao, Tsunehisa Handa, Takatoshi Okabe, Satoshi Igi (JFE Steel Corporation), Hiroaki Hirasawa, Akihiko Yamanouchi, Noboru Kiji, Takuya Kusaba (Japan Marine United Corporation)

13:30~13:55 X-2008-2022

Pre-crack straightening treatment for CTOD testing of welds with unchanged toughness evaluation

○Tomoya Kawabata (The University of Tokyo), Yoshiki Mikami (Joining and Welding Research Institute, Osaka University), Takumi Ozawa (National Maritime Research Institute), Houichi Kitano (National Institute for Materials Science)

13:55~14:20 X-2009-2022

Understanding the Mechanism of Weld Residual Stress Change by Local Compression Method

○Yoshiki Mikami (Joining and Welding Research Institute, Osaka University), Takumi Ozawa (National Maritime Research Institute), Tomoya Kawabata (Graduate School of Engineering, The University of Tokyo)

14:20~14:45 X-2007-2022

Identification for Better Local Process Condition with Bayesian Optimization

○Takumi Ozawa (National Maritime Research Institute), Tomoya Kawabata (Graduate School of Engineering, The University of Tokyo), Yoshiki Mikami (Joining and Welding Research Institute, Osaka University)

14:45~15:00 休憩

15:00~15:25 X-1999-2022

Development of WES 2820 Fitness-For-Service standard for pressure equipment - Metal loss assessment

○Junya Takahashi (WES 2820 Revision Sub-Committee, Chemical Plant Welding Research Committee, JWES, Sumitomo Chemical Co., Ltd.)

15:25~15:50 X-2005-2022

Simulation-Based Design for Fracture Control of Knock-Off Bolts for Bridges

○Hayato Nagaki, Kento Ozaki, Toru Ohmae, Dai Sago (Takadakiko Co.Ltd.), Hiroto Shoji, Mitsuru Ohata (Osaka University)

15:50~16:15 X-2006-2022

Research on Evaluating Method for Ductile Fracture Property of Steel and Weld Metal

○Asato Hatamoto, Hiroshi Shimanuki (Nippon Steel Corporation)

16:15~16:40 X-2000-2022

Gouging heat source model and analysis of gouging/welding residual stresses

○Ninshu Ma, Kazuma Kado, Sherif Rashed, Kunio Narasaki (Osaka University), Yasuo Agano, Nobuya Tanaka (FaB-Tec Japan Corporation)

16:40~17:20 X-2001-2022 and X-2002-2022

X-2001-2022

Crack Growth Analysis for Welded Structures Using Characteristic Tensor - Small Scale Yielding and CTOD Viewed from Computational Aspect-

○Hidekazu Murakawa (Joining and Welding Research Institute, Osaka University)

X-2002-2022

Crack Growth Analysis for Welded Structures Using Characteristic Tensor - Effect of Stress Ratio and Yield Stress on Crack Growth Rate -

○Hidekazu Murakawa (Joining and Welding Research Institute, Osaka University)

17:20~17:25 閉会挨拶 中谷光良

【ご不明の点がございましたら下記まで遠慮なくお問い合わせ下さい】

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1

大阪大学大学院工学研究科マテリアル生産科学専攻

溶接構造研究委員会 幹事長 岡野 成威

TEL : 06-6879-7559, FAX : 06-6879-7561, E-mail : okano@mapse.eng.osaka-u.ac.jp